

【資格の攻略法】 択一式は過去問の反復学習で

広島工業大学の十河茂幸教授に聞くコンクリート診断士取得術 (中)

2015/02/20

日経 **CONSTRUCTION**

受験指導のプロに資格取得のための勉強法や解答法を聞く第3弾は、広島工業大学の十河茂幸教授。「2015年版 コンクリート診断士試験合格指南」(日経BP社)の共著者でもある十河教授が、前回に続き、コンクリート診断士試験の四肢択一式問題の勉強法を指南する。(関連記事:日経CONSTRUCTION2015年2月9日号特集「資格の攻略法」)



✚クリックで拡大
広島工業大学の十河茂幸教授(写真:日経CONSTRUCTION)

コンクリート診断士試験の四肢択一式問題では最近、判断力を問う傾向が強まっています。写真や図表から劣化の原因や対策を判断させる問題が増えているのです。

昔の試験では、設問も選択肢も文章だけの問題が多かった。受験者が四つ並んだ文章(選択肢)を読み比べ、言葉尻などを捉えて、その選択肢が正しいか否かを考えればよかったです。

ところが今は、設問で写真や図表を使うことが多く、文章だけで問う問題が減っています。文章だけの問題も、設問文などの前置きが非常に長くなっており、読み解くのが難しいものもある。

今の試験は、知識を暗記しているだけでは対応できないのです。

そもそも、暗記のような勉強法は試験直前まで控えるべきです。普段は、知識を身に付ける勉強を心掛けてください。

身に付ける勉強とは、一つの問題を「ああ、そうなのか」と理解しながら解いていくことです。問題集などに載っている過去の試験問題を解いて、単に答え合わせをするだけでなく、解説もきちんと読んで解答の理由を理解する。これを繰り返すことが重要です。

その際に、講習会テキストで過去問の関連内容を調べれば、問題と解答に対する理解がさらに深まります。つまり、講習会テキストは辞書として使うと効果的です。

四肢択一式問題は基本的に講習会テキストに基づいているので、写真や図表を多用する最近の出題傾向を考えると、テキストに載っている図などはチェックしておく方がいいかもしれません。

[択一式の勉強は過去5年分の問題を](#)

1 2 3 [次のページ >](#)

1 [シェア](#) [ツイート](#) 0

谷川 博 [日経CONSTRUCTION]

2015年版コンクリート診断士試験合格指南

定価: 本体3,500円+税
十河茂幸、平田隆祥(著)、日経CONSTRUCTION(編)
A5判、362ページ
ISBN: 978-4-8222-0030-5

土木トップ > ニュースとコラム > 記事 (前のページ)

【資格の攻略法】 択一式は過去問の反復学習で

広島工業大学の十河茂幸教授に聞くコンクリート診断士取得術 (中)

2015/02/20

日経 **CONSTRUCTION**

択一式の勉強は過去5年分の問題を

四肢択一式問題については、過去問を中心に勉強します。

2001年度に診断士試験が始まってから10年以上が経過しています。四肢択一式では、既に問題が出尽くしている感すらあります。繰り返し出題されている問題も多い。過去問をしっかり勉強しておけば、試験本番でもかなりの問題が解けるはずです。

目安としては、過去5年分の問題を勉強すればいいでしょう。

年数がたちすぎていると、基準類が変わっている可能性があります。過去問の解答が当時は正しかったとしても、今は間違っていることもあり得ます。基準類の変更をチェックしながら問題を解いていけばいいのですが、それには手間が掛かります。

効率よく勉強するには、なるべく最近の問題に取り組む方がいいでしょう。少なくとも、10年前まで遡る必要はありません。

半面、ごく最近の情報が試験に出る可能性も低いと思います。


基本的に、試験問題には講習会テキストと不整合があってははいけません。テキストに新しい内容が追加されたとしても、それを約3カ月後の試験にすぐに出題するわけにはいきません。内容が周知されていないからです。

基準類の改正など、1年以内に更新された情報は、おおむねその年の試験に出ないとみていいでしょう。

[択一式は4回以上繰り返す反復学習を](#)

< 前のページ | 1 | 2 | 3 | 次のページ >

1 シェア ツイート 0



2015年版コンクリート診断士試験合格指南

定価：本体3,500円＋税
十河茂幸、平田隆祥（著）、日経CONSTRUCTION（編）
A5判、362ページ
ISBN：978-4-8222-0030-5
商品番号：237390
発行日：2015年1月21日

購入

関連記事

【資格の攻略法】 講習会テキスト頼みは間違い (2015/2/19)

試験勉強に「王道」はないがコツはある (2015/2/6)

2015年版コンクリート診断士試験合格指南 (2014/11/26)

コンクリート診断士 をキーワードに含む記事 / コンクリート診断士 を本文に含む記事

【資格の攻略法】 択一式は過去問の反復学習で

広島工業大学の十河茂幸教授に聞くコンクリート診断士取得術 (中)

2015/02/20

日経 **CONSTRUCTION**

択一式は4回以上繰り返す反復学習を

過去問の勉強では、反復学習が重要です。

問題を解いて、解説を読む。必要に応じて、講習会テキストも調べる。これを最低4回は繰り返します。1回目は読書するように、2回目は本腰を入れて、3回目は理解度を確認するために、4回目は試験直前対策として、それぞれ学習します。自分の知識が足りないと思う人は、もっと回数を増やす必要があります。

1回目に「読書するように」と述べたのは、過去問全体にざっと目を通すことで出題の傾向や問題のレベルを把握することができるからです。自分の実力も確認できます。また、同じ内容の問題が何度も出題されていることに気付くはずですよ。

2回目以降は、1回目の学習を踏まえたうえで、講習会テキストを辞書代わりに使うなどしながら、じっくり腰を据えて取り組みます。

普段仕事をしながら試験勉強を続けるのは大変なことです。一人で勉強していると、くじけそうになることもあるでしょう。

試験勉強に悩んだり躓（つまづ）いたりしたときには、相談に乗ってもらえる仲間がいると助かります。その意味では、診断士を目指す者同志が集まって、グループで勉強するのもいいでしょう。

問題集に載っている過去問の解説のなかには、紙面の関係で十分に説明しきれていないものもあります。グループで勉強すれば、そうした解答や解説を理解する際に、互いに足りない知識を補い合える。講習会テキストを理解するときにも役立ちます。

四肢択一式問題は正解が明らかなので、問題や解答について議論しやすく、グループ学習に適しています。(談)

次回へ続く



☛クリックで拡大
広島工業大学の十河茂幸教授 (写真: 日経CONSTRUCTION)

[< 前のページ](#)

1

2

3

[1](#)
[シェア](#)
[ツイート](#)

谷川 博 [日経CONSTRUCTION]

2015年版
コンクリート
診断士試験
合格指南

定価：本体3,500円+税
十河茂幸、平田隆祥（著）、日経CONSTRUCTION（編）
A5判、362ページ
ISBN：978-4-8222-0030-5
商品番号：237390
発行日：2015年1月21日

購入

関連記事